



2022年11月4日

各 位

会 社 名 N K K ス イ ッ チ ズ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 橋 智 成
(コード：6943 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 海 老 沼 博 行
電 話 0 4 4 - 8 1 3 - 8 0 2 6

通期連結業績予想の修正並びに 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月5日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて下記のとおり決議すると共に、2023年3月期の期末配当予想についても下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	9,300	550	600	500	607.58
今回修正予想（B）	10,000	700	800	700	850.61
増減額（B－A）	700	150	200	200	—
増減率（％）	7.5	27.3	33.3	40.0	—
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	8,938	800	878	581	706.14

(2) 修正の理由

世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や原材料価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢の長期化などの地政学的リスクによる世界経済への影響など、予断を許さない状況が続いているものの、生産増強の取り組みに加えて、第2四半期におきましても、為替環境が当初予想よりも円安で推移したことなどを踏まえ、売上高が前回予想を上回る見通しとなりました。利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響及び部材調達の遅れなどにより、投資を第3四半期以降に繰り越しておりますが、売上高の増加により営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益におきましても前回予想を上回る見込みとなりましたので、2023年3月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月10日公表)	前期実績 (2022年3月期中間配当)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	75円00銭	50円00銭	75円00銭
配当金の総額	61,719千円	—	61,721千円
効力発生日	2022年12月12日	—	2021年12月13日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月10日公表)	50円00銭	50円00銭	100円00銭
今回修正予想	50円00銭	75円00銭	150円00銭
当期実績	75円00銭	50円00銭	100円00銭
前期実績 (2022年3月期)	75円00銭	75円00銭	150円00銭

(3) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけており、収益の状況及び将来の事業展開等を勘案して安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の中間配当につきましては、最近の経営環境や業績予想等を総合的に勘案し、前回予想から25円増配の1株当たり75円とさせていただきます。また、期末配当予想につきましても同じく1株当たり75円に修正いたします。

これにより、中間配当を含めた当期の年間配当金は、前回予想から50円増配の1株当たり150円となる予定であります。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき合理的であると判断する一定の前提より作成したものであり、実際の業績及び配当は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上